

2020
3月
利府町学生まちおこし協力隊
MachitoLink in Rifu. を結成!

後場、tsumikiディレクター・桃生
に相談しアドバイスもらう

2021
1月
SNS企画
「UPDATE IN RIFU」始動

SNS企画「GO! 利府レッシュ!
〜リフに利府レッシュしに行こう!〜」
始動

3月
tsumiki交流会
「地域を観る、知る、そしてみんなで語ろう」
参加

4月
利府への郷土愛を深めようツアー♥開催
(沢乙温泉うちみ旅館×マチリンク)

5月
tsumiki交流会「地域を観る、知る、
そしてみんなで語ろう」参加
「スカイランタンプロジェクト」をプレゼン!



START
利府町にスカイランタンを上げて、
利府町を元気に盛り上げたい!

若者世代と町とを紡ぐ活動がしたいという思いを実現に移すため、赤間愛さんと松浦康生さん(当時高校1年生)が利府町役場へ相談に行ったのは、2020年3月のこと。そこで出会ったのがtsumikiディレクター・桃生和成でした。そしてtsumikiで2021年3月に開催された交流会「地域を観る、知る、そしてみんなで語ろう」に参加。この会では、利府で地域の地場産業を営む櫻井保さん(ハーバーハウスかなめ)、内海貴史さん(沢乙温泉うちみ旅館)、瀧澤崇さん(稲庭うどん瀧さわ家)が中心となって企画した、世代や分野を越えて地域について語りあう意見交換をする場です。町のことを真剣に語り合う大人たちに触発され同年5月開催の交流会で、マチリンクの2人は「利府町にスカイランタンを上げるプロジェクト」を提案。初めてのプレゼンテーションにチャレンジしました。

コンセプトは、先人達への鎮魂の祈りと、コロナ禍の苦しみからの脱却、未来の町の発展でした。その願いを込めて利府町の夜空をスカイランタンで彩りたいと熱く語りました。「利府を活気づけるために、スカイランタンを利府の空に上げたい!」「若者も大人も巻き込んで、みんなが笑顔になるイベントをやりたい!」2人が発表した企画内容は、参加者を唖らせ、大人たちの心に突き刺さりました。すぐさま、「高校生のチャレンジを応援したい!」とうれしい声があがり、プロジェクトのアイデアや実際のイベント企画・運営についてのアドバイスをもらうことができました。

成金募集が始まっていたので、それを資金源として活用しよう準備に取り掛かりました。マチリンクとしても初めての挑戦で、戸惑うことも多かったのですが何とか書類を作成して応募までこぎつけました。しかし、結果は不採択。大きく膨らんだ思いが瞬間で萎んでしまう悔しい経験でした。そして、そのあと新型コロナウイルス感染症の拡大、メンバーの受験など進路を考える時期と重なり、実質的な活動は、11月開催「ALL RIFU 産業祭」に行なったランタン作成ワークショップが最後となってしまったのでした。

利府町のんびりまち歩き

町民バス「りふと」でGo!
バスで巡る小さな旅
〜西部路線編〜

案内人 ● tsumikiスタッフ 酒井このは

スタート
文化交流センター

2021年に開館した、図書館、公民館、文化会館からなる複合施設です。開館時間が長いので、カフェでランチを楽しんだり図書館で本を読んだり、ここで一日中過ごせちゃいます!

※東部路線編は、つみきのキモチvol.14で案内しています。

特集

学生まちおこし協力隊 MachitoLink in Rifu.

マチリンクインリフ

Think Globally,
Act locally.

(PROLOGUE)
スカイランタンに込めて
宙に放った思いは
地域の人々と繋がりをLinkする

MachitoLink in Rifu. (以下マチリンク) は、宮城県利府町に住む高校生で発足した市民活動団体。「学生なりの視点からまちおこしを考え、実施し、地域貢献していきたい!」という思いから、2020年3月に設立しました。結成の思いは3つあります。小中学校時代に築いた利府町独自の取り組み「十符っ子ブラザーシップ」の繋がりを生かしたい、貴重な横の繋がりをもって、学生なりの視点からまちおこしをしたい、利府町の一員として地域貢献していきたいという3つです。

利府町教育委員会主催の「十符っ子ブラザーシップ」というのは、「町はひとつの学校」という理念の基に利府町内の小中高校で組織されているものです。「あいさつ運動」のほかにも「いじめをなくすためのアピール活動」や「エコキャップ運動」など、様々な活動を展開しています。学校や学年を越えた、子ども同士の縦と横の繋がりを大切にしたい「新しいふるさと」づくりの場となっています。

マチリンクが大切にしていることは、「繋がり」です。利府町の子どもたちは、中学卒業後には利府町外へ進学する人が多いと思います。そのために自然と利府町と関わる機会が減ってきます。「せっかく年齢や学校を越えた繋がりが出来たのに、もったいない! どうしたらまたその繋がりが取り戻せるかと考えたとき「自分たちで作っちゃえば良くない?」と、利府町にまちおこしの学生団体を作り、活動することを決めたのです。

それからがマチリンクの快進撃のはじまりです。結成直後に新型コロナウイルスの感染が拡大するなど変化する社会情勢の中でも試行錯誤しながら、町民に向けた情報や、利府町の魅力などを内外の方に伝える活動を続けてきました。彼らの掲げた理念は、「Think Globally, Act locally.」地球規模で物事を考え、足元から行動すること。つねに利府町に寄り添う学生団体でありたいと行動してきた活動の軌跡をご紹介します。

(RE-START)
「あの話
どうなったの?」
一年越しの有言実行

「ハマスカ夏まつり」に参加 @利府町浜田須賀地区
再び、スカイランタン打ち上げ

プロジェクト」を提案。初めてのプレゼンテーションにチャレンジしました。コンセプトは、先人達への鎮魂の祈りと、コロナ禍の苦しみからの脱却、未来の町の発展でした。その願いを込めて利府町の夜空をスカイランタンで彩りたいと熱く語りました。「利府を活気づけるために、スカイランタンを利府の空に上げたい!」「若者も大人も巻き込んで、みんなが笑顔になるイベントをやりたい!」2人が発表した企画内容は、参加者を唖らせ、大人たちの心に突き刺さりました。すぐさま、「高校生のチャレンジを応援したい!」とうれしい声があがり、プロジェクトのアイデアや実際のイベント企画・運営についてのアドバイスをもらうことができました。

成金募集が始まっていたので、それを資金源として活用しよう準備に取り掛かりました。マチリンクとしても初めての挑戦で、戸惑うことも多かったのですが何とか書類を作成して応募までこぎつけました。しかし、結果は不採択。大きく膨らんだ思いが瞬間で萎んでしまう悔しい経験でした。そして、そのあと新型コロナウイルス感染症の拡大、メンバーの受験など進路を考える時期と重なり、実質的な活動は、11月開催「ALL RIFU 産業祭」に行なったランタン作成ワークショップが最後となってしまったのでした。

「おもてなし運動」参加
(乃木坂46宮城公演@
グランディ・21/利府町)

7月
りふ議金だより
(令和3年7月29日発行)に
団体紹介掲載

11月
「ALL RIFU 産業祭 (十符の里ー利府フェスティバル)」参加
スカイランタンづくりワークショップ実施

11月
第2回
「利府町民会議」参加

12月
「利府町市民活動研究会」
(リフ超学校主催) 参加

2022
3月
「利府町まちづくり大学」に
パネラーとして参加

6月
tsumiki交流会
「スカイランタンプロジェクト。
あの話どうなったの?」参加
スカイランタンプロジェクトの
進捗状況を報告

7月
「李さんと利府レガシーになる
イベントを創ろう」参加

8月
「ハマスカ夏祭り2022」参加
@利府町浜田須賀地区
スカイランタンの打ち上げを
初めて行いました

「ハマスカ夏まつり」には、翌年も参加することができ、「地域のみなさんに支えられ、思いがカタチになっていく!」ことを実感した貴重な経験となりました。2024年3月 tsumiki利府町ビジネスチャレンジアワードにエントリーし、優秀賞を受賞。その活動は町内外にも認められることになりました。続けて、4月には東北最大級のイオンモール新利府で開催する「RIFU Fest」に参加。願いごとなど思い思いに描いてもらったスカイランタン100個をライブスクエアに打ち上げると、その場にいらした方々から「わー、きれい!」と感嘆の声があがりました。松浦さんは、「イベントを通していろんな人とリンクできて楽しかった。新たな町の文化として続けたい」と語ります。

文化交流センター
「リフノス」

2021年に開館した、図書館、公民館、文化会館からなる複合施設です。開館時間が長いので、カフェでランチを楽しんだり図書館で本を読んだり、ここで一日中過ごせちゃいます!

※東部路線編は、つみきのキモチvol.14で案内しています。

mou mol molle

素材を厳選し、手間を惜しまず
に作り上げる完全自社製洋菓子店。
ジェラートとチーズケーキは
不動の人気ですが、私はこのお
店のアップルパイが大好き。甘さ
と酸味のバランスが絶品!

おすすめ!

cafeソノヒノキブ

ハンドドリップで淹れたコーヒーと手
作りデザートが美味しい「cafeソノ
ヒノキブ」。店主の自宅の一角がお店
になっていて、アットホームな雰囲気
も魅力的。スパイスカレーDAYには、
本格的カレーが食べられます!

本格的です!

産直市場 あじわいの朝

地産地消を推進する地元密着型の八百
屋さん。新鮮な野菜がお安く手に入り
ます。お隣には「お食事処伊達商店」が
あり、牛タンカレーや牛タン定食が人気
です。

本格的です!

Boulangerie Azur

大手ベーカリーで長年修業をしたシェフ
が、素材にこだわって創る本格的なパンと
焼き菓子の店。こだわ製法で作るフラン
ス産バターが香るクロワッサンは、看板商
品のひとつ。ぜひ一度お試しください!

初めて「りふと」西部路線を利用して、
たくさんのお気に入りのスポットを見つ
けることができました。町内外問わず
多くの方が利用しやすいバスだと感じ
ました。ぜひみなさんも「りふと」に乗
って小さなバス旅はいかがですか?(酒
井このは)

ゴール

ジライめつけ×tsumiki企画
Rifuのいいところを見つけようコン
テスト
投票期間 7/1(月)〜8/31(土)

今回の「利府のんびりまち歩き」の
コースは、アプリ「MEQQE」からも
ご覧いただけます。

2023
7月
「ALL RIFU 産業祭 (十符の里ー利府
フェスティバル)」参加
謎解きブース出店

2024
3月
tsumiki利府町ビジネスチャレンジ
アワードにエントリー。
優秀賞受賞!

4月
「RIFU Fest」
@イオンモール新利府南館
スカイランタン作りワークショップ
とスカイランタン打ち上げ

(FUTURE)
これからの活動

発足当時は、5人ではじめた団体も、現在12人とメンバーも増え「マチリンク」そして活動中。結成直後、新型コロナウイルスが猛威を振るい、思うように集まることができず諦めそうになった空白の時間も、乗り越えてきたからこそ、今振り返って思うのは、このコミュニティは、絶対に消してはならないということでした。赤間さんは、初めてマチリンクを結成したいと役場に行ったとき、暖かく迎えていただいたことを今でも忘れられないと言います。「こんな高校生待っていたよ!」と言われた時は、自分たちの存在意義を改めて認識しました。「マチリンクが今、存在しているのは、たくさんの方々に支えられているからこそです」と地域の大人への感謝の思いを忘れません。マチリンクは、さらなる「野望」を胸に秘めつつ、「やりたいこと」が次々へと湧いてくるのでした。一方で、今のメンバーの後に続く学生が絶対的に不足しているのも切実な課題。「私たちの活動は、絶対に『面白い!楽しい!やばすぎる!』と思わせる自信があります」だから同志を持つ後輩たちが増えると信じています

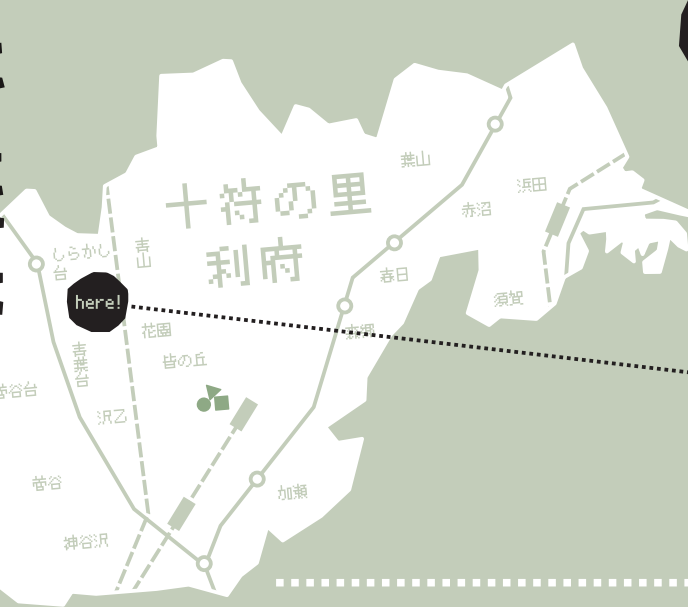
と赤間さん。世の中が頻繁に変化するこの時代に「マチリンクでしか出来ない経験しませんが?新しいまちおこしのカタチを創る改革者になりませんか?」と呼びかけます。

マチリンク大募集中!
入会相談お待ちしています

MachitoLink in Rifu.
マチリンクインリフ

● <https://machitolink.wixsite.com/rifu>
✉ machitolink@gmail.com
📱 Instagram @machitolink_rifu
📱 X @MachitoLink_R

十符のしごと場



4カ所目 株式会社 ジー・イー・エス

省力化生産設備、理化学機器の設計・製作を手がける
技術者集団です。

世界にひとつだけの製品づくり
世界に誇れる企業がここにあり!

利府町のしらかし台工業団地に位置する株式会社ジー・イー・エスは、「Made in Miyagi」をスローガンに世界の製造業の一端を担っている会社です。tsumikiが2021年度から毎年実施しているオープンイノベーション工場見学ツアーに毎回参加していただき、他の会社から学び、自社の事業に活かす姿勢と利府町の発展を望む思いが人一倍強く、今年度6月に開催した同ツアーでは、見学先の企業として工場内を案内していただきました。

技術力の高さと「省力化」という付加価値

株式会社ジー・イー・エスは、産業用の機械や生産設備などを作っている会社です。カタログ製品はなく、すべてカスタムメイド。一からお客様の要望に応え、望み通りの製品を作り上げる丁寧な仕事をしています。ときには生産ラインそのものを請け負うこともあるそうです。「お客様の相談を受けてから、完成した製品を納品するまで、一貫して請け負うのが私たちの使命です」と代表取締役社長の滝野善弘さん。取引先の依頼に添って、一から製品を作り出す技術力の高さが最大の強みとなっています。

今の時代、求められる製品だけを作っているのはお客様に満足してもらえません。いかに環境やコストに優いかという点が重要です。そこで「省力化」が一つのキーワードとなっています。製品に「省力化」という付加価値を実装することで、他社との差別化を行っています。どうしても価格やエネルギー消費を抑えられ、最小の人員で効率的に機械を動かすことができるのか、その方法を取引先に提案し要望に応えながら製品作りを行っています。取引先は自動車産業や電子機器分野が多く、トヨタ、日産、ホンダなどの自動車メーカー、それらメーカーに部品を納めているサプライヤー。ソニー、パナソニックなど大手企業をはじめ、アメリカやヨーロッパ、アジアなどの海外企業にもおよび、これまで100社以上の企業と取引してきました。

また、生産設備のほか、研究開



▲代表取締役の滝野善弘さん

発に使われる理化学機器の設計・製作にも力を入れています。これまでの取引先は、東北大学をはじめ、宇宙研究開発機構（JAXA）、宮城県産業技術総合センター等の大学、官公庁、民間企業の研究所といった錚々たるところ。ここでも産業機械部門で培った「省力化」技術が応用され、コスト面からも、日本の科学や最新の研究を支える屋台骨となっています。

創業から受け継がれる精神

会社の成り立ちは、1979年にさかのぼります。現会長の湯澤哲雄さんが仙台市で個人営業を開始。1981年に株式会社技研エンジニアリングサービスを設立しました。1983年には、自社工場部門を新設し、本格的に機械の製造を開始します。利府町に本社を移転したのは1993年。2000年に、現在の社名に変更しました。2018年、創業者から滝野社長に引き継がれて現在に至ります。「前社長の湯澤からは「モノづくりは人づくり」の精神を叩き込まれました。私にとって、社員の教育、働きやすさ、福利厚生の実践は、取り組むべき大きな課題となっています」。滝野社長の就任後、会社内の改革はスピード感をもって実行されてきました。一つ

は、社員同士の学び、自己研鑽の奨励です。開発の手戻りを未然に防止するために実施しているデザインレビューという手法は、設計開発活動を見直しベテランから若手へ優れた技術と知恵が継承される場となっています。ほかにも、部署ごとに行われている若手中心の自発的な学習の場づくりや、他企業・他業種と積極的に交流することで、自社の取り組みを振り返り、他社の良いところを積極的に取り入れる機会にしています。福利厚生の実践としては、会社の敷地内でBBQをしたり、ボーリングなどのスポーツで親交を深めたりしています。昨年の夏には社員総出で北海道旅行をしたそうです。

小さくても戦える国際企業に

今年6月に行ったオープンイノベーション工場見学ツアーの準備にあたっては、真剣に取り組む姿がとても印象的でした。工場の中でも見せられる部分、見せられない部分の制約がある中、「どうしたら自社の事業を適切に表現でき

るか、参加者に満足してもらえるか、一緒になって考えてください」と相談も受けました。最近、挑戦している協働ロボットと画像処理技術を融合させたデモ機の製作も、工場見学に間に合わせようと試作を重ねていただきました。このような真摯な姿勢こそ、取引先を魅了する理由なのだと思えました。こんなすごい企業が利府町にあったという驚き。社員50人ほどの小さな会社ですが、大手企業を満足させる高い技術力と省力化という武器、そして国内の最新研究を支えている確かな実績は、「ジー・イー・エス、ここにあり!」という意気込みを十分にを見せてもらいました。

滝野社長が目指す会社の姿は、大企業にも負けない高い技術力をもった国際企業です。「私たちに、小さくても地域を担う責任がありますから」と語る謙虚な姿勢

取材・文 石井宏之



利府町で活躍する事業者を紹介していきます

十符（とふ）とは？ ……昔、利府町の湿地帯には、良質な菅（スグ）草が自生し、「菅藪（スガコモ）」と呼ばれる敷物が作られていました。その菅藪の編み目が10編あることから「十符の菅藪」と呼ばれ、みもの「敷物」としてもうたわれていました。これが、「十符の里」「十符の浦」と呼ばれるようになり、十（と）が利（と）に、符が府に変わったと言われています。

株式会社ジー・イー・エス

● 利府町しらかし台6丁目4-4
☎ 022-356-1455
🌐 <http://www.gei-es.co.jp/>



from RIFU-CHO CHALLENGER

— CHALLENGER

彦雷のハニー工房
松岡好彦さん



元氣な日本蜜蜂がたくさん

— 稀少な百花蜜の味を伝える

松岡好彦さんは、希少な在来種である日本蜜蜂を扱う養蜂家です。躍る可愛いはちみつの彦雷（おらい）ちゃんがトレードマークの「彦雷のハニー工房」。東北弁で自分のことを指す言葉「おらい」が屋号名の由来となっていて、自身の名前前の「彦」と蜂の黄色を「雷」に例え2つの漢字を当てたのだそうです。日本で流通しているはちみつのうち、日本蜜蜂から採取した蜜は、たった1%未満と貴重なものです。主に1種類の花から蜜を集める西洋蜜蜂に対して、日本蜜蜂は巣の近場で咲く多種多様な花から蜜を集めるというのが大きな特徴。別名「百花蜜」とも呼ばれる日本蜜蜂が集めた蜜は、口に入れた瞬間に花々の香りが何層にもわたって広がり百の花を凝縮したような深みのある味わいを感じることができます。



— 養蜂家への道のり

農林水産省で働いていたというキャリアを持つ松岡さん。はちみつに魅了されたきっかけは、中学校の同窓会で、利府町ではちみつ農家を営んでいた同級生と再会したことでした。「はちみつのことを熱く語っている姿を見て、なんだか自分もやってみたくなりました」と、仕事の傍ら町内に巣箱を設置したのが2015年のことでした。しかし、その道は簡単なものではありませんでした。すぐにはちみつを採集することはできず、なんと7年間も松岡さんの巣箱に蜂たちが巣を作ってくれずはなかつたと言います。今年で最後にしようという決意を抱いて臨んだ8年目に大きな転機が訪れました。定年退職し時間に余裕ができたため、自分の足で巣箱の様子や周りの状況、蜂の動きを丹念に観察して周りました。そして、見事5群もの巣を作ることに成功。「7年間は決して無駄な時間ではなく、何が上手くいかない原因なのかを知り、改善を行う大切な時間だった」と松岡さんは振り返ります。

— はちみつで利府を支えたい

2023年10月商品化したはちみつをイオンモール新利府を会場に行われた「利府梨まつり」で販売したのを皮切りに、翌年2月にはtsumikiで開催した「こ・あきない市」に出店。現在は、tsumikiセレクトショップでの委託販売やメルカリでのネット販売などのほか、利府町ふるさと納税の返礼品として提供しています。利府町を代表する農産品として利府梨が挙げられますが、ほ場整備の立ち遅れや後継者不足、旧来型方式（棚）での生産効率などの課題があり生産量が少なくなってきたのが現状です。「梨に次ぐ第二の農産品として、日本蜜蜂のはちみつを世の中に認知してもらうことが大きな目標ですね。そのためには自分の作るはちみつを広めていく必要があると思っています」と語るその目的は、はちみつに対する情熱が込められていました。「彦雷のハニー工房」のはちみつを通じて、利府を盛り上げようとする松岡さんの挑戦はまだ続きます。

取材・文 吉田音生

“ 日本蜜蜂と共生した養蜂と、その蜜蜂を活用したコンパクト菜果園を目指す ”



— INFORMATION

- Instagram @oraino38
- メルカリ 彦雷のハニー工房

tsumiki INFORMATION

2024

「こ・あきないの学校」が始まります!

手の届く範囲で確かな意志やこだわりを持って働く方をゲストに迎え、仕事づくりのヒント、小商いのはじめ方や今に至る経緯、日々の思考についてなどを対話形式で伺います。

【会場】利府町まち・ひと・しごと創造ステーション tsumiki
【参加費】各回 1,000円（11/9のみ無料）※プログラムは複数受講可能です。
【お問い合わせ】022-766-9231

9/1 (日) 13:00-15:00

オープニングイベント 仁平古家具店のはじまりと今

話し手 仁平透 (仁平古家具店 店主) (栃木県真岡市)
聞き手 桃生和成 (Granny Rideto) 鈴木朝美 (旅と本とおやつと)
【定員】30名 (要申込)



9/14 (土) 13:30-15:00

PROGRAM 01 / 食と地域とこ・あきない

話し手 晶山菜奈 (舞根キッチン) 気仙沼市唐桑町
【定員】20名 (要申込)

9/28 (土) 13:30-15:00

PROGRAM 02 / カフェとギャラリーとこ・あきない

話し手 田代成 (Satomi kiln) 仙台市青葉区
【定員】20名 (要申込)

10/6 (日) 13:30-15:00

PROGRAM 03 / 花とこ・あきない

話し手 大塚のぞみ (Botanical People 店主) 松島町
【定員】20名 (要申込)

10/26 (土) 10:30-12:00

PROGRAM 04 / 喫茶とこ・あきない

話し手 菊地祥史 (喫茶コーヒーワークス 店主) 仙台市泉区
【定員】20名 (要申込)

11/9 (土) 13:30-15:00

PROGRAM 05 / こ・あきないの学校をふりかえる

【定員】20名 (要申込)
【参加費】無料

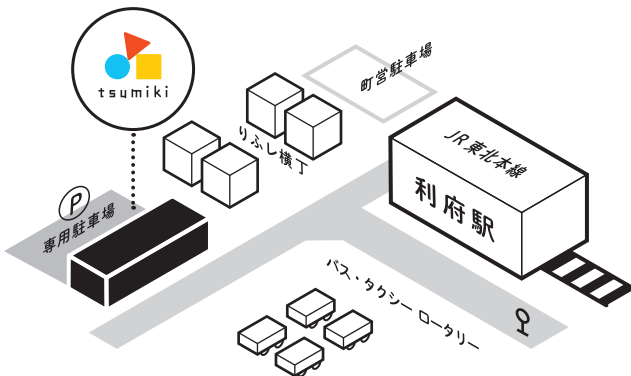
主催：利府町 企画・運営：一般社団法人Granny Rideto 協力：旅と本とおやつと



利用時間
9:30-17:30
(水・金曜日は21:00まで開館)

休館日
火曜日・年末年始

〒981-0104
宮城県宮城郡利府町中央1-5-2
TEL 022-766-9231
FAX 022-766-9232
Email info@rifu-tsumiki.jp



設置運営 利府町(商工観光課シティセールス係) 管理運営(業務委託者) 一般社団法人Granny Rideto

利府町では、地方創生に向けて良好な住環境に「ワクワク感」をプラスした魅力的なまちづくりを進めています。起業・創業や「利府ならではの」シティセールス政策や、移住・定住施策などに取り組んでいます。同時に「Granny」には「おせっかい」という意味があり、地域のおせっかいをやく役割を担うという意志が込められています。

公式ウェブサイト rifu-tsumiki.jp Twitter @rifu_tsumiki Facebook <tsumiki>で検索 Instagram @rifu_tsumiki

“つみきのキモチ”は、利府町内を中心に隣接する市町村の公共施設、カフェ、店舗などで配布しています。

つみきのキモチ vol.24 発行日●2024年8月1日 発行●利府町 企画●一般社団法人Granny Rideto 編集●葛西淳子・桃生和成(一般社団法人Granny Rideto) デザイン●伊瀬谷美貴(Interagire)